

検査センター トピックス

第121号 R2.7

SFTS(重症熱性血小板減少症候群)

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）は、主にウイルスを保有しているマダニに咬まれることにより感染するダニ媒介感染症です。

感染症法では四類感染症に位置付けられています。致死率は10～30%程度です。

5日～2週間の潜伏期間を経て発症し、重症化する疾患です。

衣服にマダニのような虫がついていた場合⇒虫体を空容器に入れ提出

皮膚に咬みついている状態⇒皮膚ごとホルマリン容器に入れ病理組織で提出

主な症状は、

- ◎発熱、消化器症状（食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛）が出現
- ◎時に頭痛、筋肉痛、神経症状（意識障害、けいれん、昏睡）、リンパ節腫脹、など

検査所見

- ◇血小板減少（10万/m³未満）、白血球減少
- ◇血清電解質異常（低Na血症、低Ca血症）、血清酵素異常高値（AST、ALT、LDH、CK）
- ◇尿検査異常（タンパク尿、血尿）

検査項目名	虫体鑑別	病理組織学的検査
材料・検体量	虫体	虫体を含む皮膚片
所要日数	2～3日	約1週間
検査実施料	23点	860点

